

蒲生干潟の植物③〇

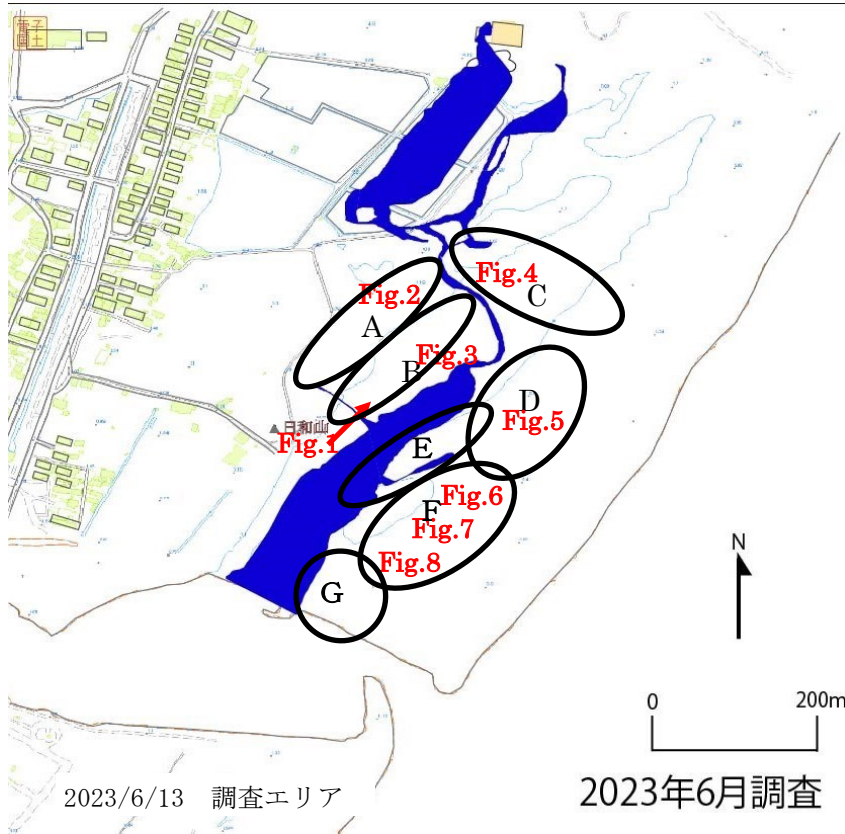
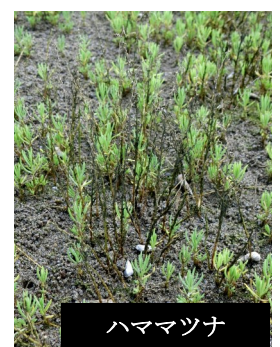


Fig.1 エリアBを南西側から撮影



ヨシ

Fig.2 エリアAで撮影



ハママツナ

Fig.3 エリアBで撮影



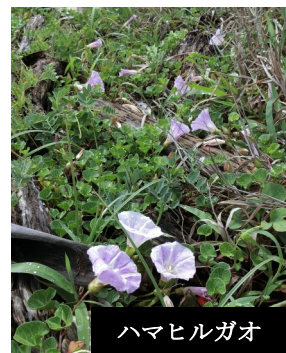
シオクグ

Fig.4 エリアCで撮影



ケカモノハシ

Fig.5 エリアDで撮影



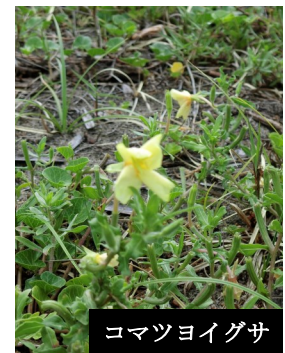
ハマヒルガオ

Fig.6 エリアFで撮影



ハマボウフウ

Fig.7 エリアFで撮影



コマツヨイグサ

Fig.8 エリアFで撮影

調査日時：2023年6月13日（火）9:45～11:00，天気：くもり

干潮から満潮へと移り変わる時間帯での調査で比較的水が少なかった。定点観測では、ハママツナの緑が濃くなったのが確認できた (Fig. 1)。枯死した個体が残っているエリアは遠目には茶色に見えるが、近づいてみるとハママツナが数多く生えているのが分かる (Fig. 3)。エリアAのヨシは、大きいもので150cmほどに伸びており、先月同様1か月で50～60cm伸長しているのが確認できた (Fig. 2)。エリアCのシオクグは、穂が大きく成長し、個体によっては赤みを帯びているものもあった (Fig. 4)。エリアDのケカモノハシは、新しい葉が大きく広がり、昨年の枯死した個体がようやく目立たなくなった (Fig. 5)。エリアFでは、ハマヒルガオの花が多数確認できた (Fig. 6)。先月すでに見られていたが、6月も確認できた。ハマエンドウは見られなくなった。エリアFでは、ハマボウフウが複数個体確認することができた (Fig. 7) 順調に個体数が増えてきているので今後も注視したい。また、エリアFの南側では、コマツヨイグサも確認できた (Fig. 8)。エリアF内でコマツヨイグサが点在しており、一部群生しているのが見られた。

(宮崎佳彦)